

✧ 海外ニュース ✧

ドイツ 2024年8月1日 BMDV

■ 混在交通が高速道路交通に及ぼす影響を調査

Untersuchung der Auswirkung von Mischverkehr auf der Autobahn

高度自動化運転および自律運転の環境整備において世界をリードし、この役割をさらに拡大しようとするドイツでは、「自動運転車両と手動運転車両が混在する路上での、相互に快適な道路利用と交通安全の確保」をテーマに調査計画が進められている。現在、高速道路 A8 号線、A2 号線などの一部区間では、①交通安全への影響（事故）、②交通状況（車両速度や渋滞など）への影響、③環境への影響、ならびに④車両によってまちまちな走行速度/速度プロファイルが、混在交通という条件下で高度自動化運転と自立運転に及ぼす影響、などを中心とした調査が予定されている。このプロジェクトは 2022 年に着手され、4 年計画で実施される予定である。

フランス 2024年8月2日 ADAC

■ フランスで高速道路通行料徴収がフリーフローシステムに切り替え

Maut in Frankreich : Autobahnen stellen auf Free Flow um

フランスの高速道路で通行料のデジタル課金システム「Free-Flow-Maut (péage en flux libre)」の導入が進んでいる。同国の高速道路のほとんどが有料で、走行距離に応じて課金される通行料は従来料金所で直接支払う仕組みであったが、料金所付近では渋滞がしばしば発生していた。今後数年間で全区間を自動課金方式とする。通行車両は通行料自動算出ゲートでスキャンされ、ナンバープレートが自動的に記録される。走行後 72 時間以内にドライバー自らがオンライン（クレジットカード）、ADAC 通行料ボックス、あるいは最寄りのサービスエリアやキオスクに設置された支払機（現金）で通行料を支払わなければならない。すでに A4 号線、A13/A14 号線や A79 号線の一部区間で導入されている。

イタリア 2024年8月5日 ANSAit

■ 高速道路 A22 の運営会社は、イタリア政府に 2 億 3,200 万ユーロの過剰利益を支払う

A22 verserà 232 milioni di extraprofitti allo Stato

イタリアの上院はインフラ法令を承認し、ブレンネロとモデナを結ぶ高速道路 A22 において地域インフラ投資が促進されることとなった。これにより道路運営会社は、利益の一部を同高速道路と近接道路における利便性向上と改善に充当する予定である。これは、道路収益が公的利益のための投資に使われることを意味する。道路網と周辺住民の生活の質の向上につなげる方策を検討した結果の法令であるとトレント自治県の知事も述べている。

米国 2024年8月6日 construction Technology

■ 7 億 7,900 万米ドルの橋架け替えプロジェクトに入札が一件のみ

Just one bid submitted for US\$779 million bridge replacement project

ロードアイランド州当局は最近、スカンスカ USA、マサチューセッツ州に拠点を置くマコート・コンストラクション社、州内の橋建設・解体業者エトナ・ブリッジ社にプロジェクトを発注した。このプロジェクトには、州の「プロビデンスとウォリック間の州間高速道路 95 号線とルート 10 沿いの橋の未処理分」の 15 基の橋の撤去が含まれる。チューター・ペリーニ社の CEO は「この制限された競争は率直に言って需給不均衡の結果である。多くの大規模プロジェクトのチャンスがある一方で、こういったプロジェクトに対する物的資源、財源を持つ請負業者は少ない」と述べている。

オーストリア 2024年8月7日 ASFiNAG

■ フォアアールベルク州プフェンダートンネル出入口で州最大級の太陽光発電設備プロジェクトが始動

Start für Umsetzung für eine der größten Photovoltaik-Anlagen Vorarlbergs auf den Portalen des Pfändertunnels

オーストリアの高速道路運営管理会社 ASFiNAG は 2030 年までの実質エネルギー自給自足を目指している。

全体としてエネルギー需要を2割削減し、同時に自家発電量を増やす計画で、特に西部フォアアールベルク州では太陽光発電に力を入れている。なかでも、2本のトンネルで構成されるプフェンダートンネルでのプロジェクトは最も大規模なものとなっている。同トンネルには多様な技術を取り入れた安全設備が備わっており、年間3,500 Mwhものエネルギーを必要とする。これを賄うため、入口と出口に合計出力670 kWpの太陽光発電設備を設ける計画にこのほどゴーサインが出された。完成すれば、トンネルのエネルギー消費量の約5分の1程度を現地で発電したグリーンエネルギーで賄うことができる。

英国 2024年8月8日 ITS International

■ ドローン写真が緊急サービスや交通管理者にとって非常に価値あるものに

Drone pics are 'extra golden nugget' for emergency services and traffic operators

英国のコヴェントリー市議会は、いかにドローンが交通事故に最初に目をつけるかを知るべく、コンサルタント会社ベルソス、ドローン企業スカイファラー、HAASアラートと連携している。代表団は最近の地方自治体道路インフラグループイノベーション学習フェスティバルにおいて、事故車両からの自動eCallに対し、いかにドローンが加速し反応を改善しうるかを目の当たりにした。eCallはエアバッグが展開すると自動的に警告を発する。eCallアラートが受信されると、ドローンは指定された場所へ飛び、緊急サービスや地元の輸送制御センターへ写真を送信する。

米国 2024年8月8日 Trucking Dive

■ 連邦道路管理局が橋計画助成金として2,650万ドル超を交付

FHWA awards over \$26.5M in bridge planning grants

発表によると、連邦道路管理局は全国の20数件を超えるプロジェクトへ橋計画助成金として2,650万ドル超を交付した。連邦道路管理局長シェイレン・バットがインタビューでトラッキング・ダイブに語ったところによると、この計画助成金は連邦建築金の受給資格があるプロジェクトのパイプラインを各州が築き上げる助けとなる。「橋のプロジェクトは非常に複雑になる可能性があり、多くの環境への配慮が生じうる。各州が将来への配慮に対し資格を持てるよう、プロジェクトの準備をする際に良いスタートを切ってもらいたいと考えている」とバット氏は述べている。

英国 2024年8月9日 Highwaysindustry.com

■ フォルカー・ハイウェイズ社がフロックスフィールド、A4号線沿いで20%のリサイクルアスファルト製品を使用

VolkerHighways uses 20% RAP material along the A 4 Froxfield

昨年、フォルカー・ハイウェイズ社はFMコンウェイズ社、インレイ・マネジメント・サービズ社と緊密に連携し、4kmにわたり20%のリサイクルアスファルト製品を敷いた。この成功の後、同じ碎石マッシュアップアスファルト、14mm PSV 65ウォームミックス材を用いてプログラムの第2段階が現在完了している。効率と安全性をさらに改善するため、フォルカー・ハイウェイズ社はWJグループと協働し、すべてのA道路で現在ウエスト・パークシャー州議会により採用されている3M 301道路鋏を設置した。

米国 2024年8月12日 Electric Vehicle Charging & Infrastructure

■ ウェストン・アンド・ Sampson社とリバームア・エナジー社がマサチューセッツ州の幹線道路を急速充電ステーションで電氣化

Weston & Sampson and Rivermoor Energy to electrify Massachusetts highways with high-speed charging stations

電気自動車充電設備の開発や主要なマサチューセッツ州企業、地方自治体、公共施設、非営利組織へのクリーンエネルギーソリューションの提供における専門知識、成功の確かな実績を理由として、ウェストン・アンド・ Sampson社とリバームア・エナジー社の長年の提携が結ばれた。同州交通局の国家電気自動車インフラニシアチブにより、連邦政府の「代替燃料コリドー」に分類される同州の州間幹線道路と州道で少なくとも80kmごと、また幹線道路出入口の1.6km以内に超急速電気自動車充電設備が追加されることになる。

オーストラリア 2024年8月13日 construction Technology

■ 南オーストラリア州が『最大のインフラプロジェクト』を完了するため5社コンソーシアムを選択

South Australia selects five-firm consortium to finish 'largest infrastructure project'

ブイグ・コンストラクション社、ジェイコブス社、アルカディス・オーストラリア社、ヴェンティア社、ジョン・ホランド社によるジョイントベンチャー5社は、南オーストラリア州最大のインフラプロジェクト「アデレード南北コリドー計画」を実行する優先提携企業として選ばれた。このプロジェクトはゴラーからオールド・ノアールンガまでアデレード市を横切る78kmの高速道路を拡張、改良する計9パートの建設となる。8パートはすでに完了しており、トレンズ川～ダーリントンのトンネル掘削機プロジェクトのみが残っている。

英国 2024年8月13日 Highwaysindustry.com

■ ソーラーパネル幹線道路は世界のエネルギー問題を解決できるか？

Could Solar Panelled Highways Solve Global Energy Problems?

「ソーラーパネルで幹線道路に屋根をつけることにより炭素排出量と交通損害が大幅に削減される」と題する研究がアース・フューチャー誌で最近発表されたが、幹線道路・主要道路上にソーラーパネルを設置する実現可能性が検討されている。世界の幹線道路網は320万kmを超えるが、研究者らは容量250Wの多結晶パネルを使用してソーラーパネルシステムを構築する経済上・環境上の利点を評価した。解析によるとこのようなシステムにより米国の年間エネルギー生産量の4倍超が生産され、CO₂排出量が28.78%、世界の交通事故死が10.8%削減される可能性がある。

イタリア 2024年8月14日 Il Fatto Quotidiano.it

■ モランディ橋、崩落後6年間続く裁判：被告側は新たな鑑定を要求し、判決は2026年まで待たねばならない

Ponte Morandi, il processo infinito sei anni dopo il crollo : le difese chiedono una nuova perizia e la sentenza rischia di slittare al 2026

リグーリア州の法廷で、2022年7月から最終的議論が進行中であるが、トンネルの終わりの明かりが見えないのが現状である。9月23日に判事は、証拠調べの段階で既に明らかになった鑑定をさらに実施すべきかどうかを選択することになっている。新たな調査により、結論が出るまであと数カ月の時間がかかることになる。この事故は2018年8月14日に発生し、ジェノバの西を横切るモランディ橋として知られる高速道路陸橋が崩落し、43名の人命が失われている。

チリ 2024年8月15日 EL MUNDO

■ アベルティス社は、チリで223kmの高速道路建設を受注し、7年間で10億ユーロの投資予定

Abertis se adjudica una autopista de 223 kilómetros en Chile e invertirá 1.000 millones en siete años

受注契約は2025年4月に開始され、アベルティス社は工事に着手し通行料金の徴収を始める。インフラグループの同社は、チリでサンチアゴとロス・ビロスを結ぶルート5の運営を受注することによって、ラテンアメリカでの存在感を増している。この受注はチリの子会社であるピアス・チリ社を通じて、スペインの会社が80%管理運営することになる。

米国 2024年8月16日 Construction Europe

■ ルイジアナ州の築70年の橋を架け替える23億ドルプロジェクトが前進

\$2.3 billion project to replace 70-year-old Louisiana bridge moves forward

アクシオナ社とそのビジネスパートナーであるプレナリー・アメリカズ社とサシール社は、カルカシュー・ブリッジ・パートナーズコンソーシアムを結成し、実際は築70年を超える既存の橋に対し、50年間の運用、維持するのに先立って代替物を建設することになる。州間高速道路の6車線といくつかの追加構造部の再建、フリーフロー通行料徴収システムの実装、1952年に開通した既存の橋の解体が作業に含まれる。既存の橋は、耐用年数が50年で1日あたり37,000台の車両に対応できるよう設計されていたが、現在1日の平均通行量は90,000台を超えると報告されている。

スペイン 2024年8月16日 Cinco Días

■ **アクシオナ社、ACS社およびメリディウム社は、米国アトランタの有料高速道路の建設を46億ドルで受注**
Acciona, ACS y Meridiam se adjudican una autopista de peaje en Atlanta (EE UU) valorada en 4.600 millones

道路建設を行うこの3社の企業連合は、55年間にわたり、設計事業、建設、財務実務、高速道路の拡張と維持および工事を実施、運営することになった。米国の高速道路建設計画で最も大規模なこのプロジェクトは、46億ドル（41億8,600万ユーロ）の受注額である。SR400 エクスプレスレーンと呼ばれるこの高速道路建設プロジェクトは、アトランタ雇用センターと、フルトンとフォーサイスの住宅街を結ぶ主要道路である。

米国 2024年8月26日 HIGHWAYS TODAY

■ **道路をより安全にし、強風によるトラック吹き飛ばし事故削減ため、地理情報システムを利用**

Using GIS to make Highways Safer and tackle Truck Blow-Over Crashes

車道、特に州間高速道路80号線のような交通量の多い道路は、大陸を横断するトラック交通の大動脈として役割を果たしている。一方で、長年にわたりそれらは深刻さを増す問題、すなわち強風によるトラック吹き飛ばし事故の現場となってきた。強風と軽量で車高の高い車の組み合わせという条件でこのような事故が起こりやすくなっており、障害や危険が引き起こされる。しかしワイオミング州の交通局は卓越した技術革新とスピードで、そのような危険な事故の抑制を期待できる地理情報システムに基づいたソリューションを実施している。

米国 2024年8月28日 Electric Vehicle Charging & Infrastructure

■ **米国政府が国内の電気自動車（EV）充電器を倍増したと述べ、さらなる助成金として5億2,100万米ドルを確約**

US government says it has doubled US EV charger numbers and pledges US\$521m in further grants

バイデン・ハリス政権は、9,200以上のEV充電ポートの配備を含め29の州、8つの連邦政府によって認知されている部族、コロンビア特別区においてEVの充電および代替燃料供給インフラを増築するための助成金5億2,100万米ドルを発表した。政権は、この前進は超党派インフラ法やEV充電インフラの民間投資への触媒作用の証であり、政権が充電および燃料供給インフラに関する裁量的助成金プログラムや国家EVインフラフォーミュラプログラム等を通し、EV充電網を拡大すべく民間産業とともに重要な役割を果たしていると述べた。

フランス 2024年8月28日 SANEF

■ **フリーフローの通行料金：支払い忘れがない仕組みは？**

Péage en flux libre : comment ne pas oublier de payer ?

2024年6月19日以降、パリ～ノルマンディー幹線道路A14はフリーフローの通行料金徴収システムに移行した。通行料金の支払いには、ナンバープレートと銀行用カードを登録する自動支払いシステムと、高速道路利用後に支払通知書を受け取り72時間以内に支払う方法と、最後に「通行料金遠隔支払いバッジ」を使って翌月初めに自動的に支払いを行うシステムがある。トールゲートバーを使わないフリーフローの通行料金徴収システムなので、車両は減速や一時停止の必要がない。

英国 2024年8月29日 Highwaysindustry.com

■ **岐路に立つ英国製造部門：道路業界にとって新労働党政権は何を意味するのか**

UK Manufacturing at a Crossroads : What the New Labour Government Means for the Highways Industry

新労働党政権のアジェンダの重要な要素として、環境保全技術やサステナブルな慣行を通じた気候変動への取り組みに対する確固たるコミットメントが挙げられる。インフラ開発は労働党政権の計画のもう1つの礎であり、道路業界に直接的な絶好の機会を提供している。道路業界は技術の進歩と無縁ではないが、変化のペースはデジタル化とインダストリー4.0へ向かう新政権の動きの元で加速し始めている。道路業界は世界のサプライチェーンや国際貿易に深く関与するものである。新労働党政権の政策は道路業界に課題と機会の双方を提示している。